

**「5G規格関連特許出願・寄書の動向分析」にて
ドコモの特許出願ファミリー数が世界の通信事業者で首位と評価**
-標準化活動をけん引し、5G規格策定でも中心的な役割-

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、第5世代移動通信方式(以下、5G)のサービス提供に必要な特許出願ファミリー候補^{※1}の保有数について、株式会社サイバー創研による「5G実現に資するETSI標準規格必須特許^{※2}(5G-SEP)候補の出願動向と標準化寄書の提案動向」の分析において、世界の通信事業者で首位^{※3}と評価されました。

ドコモは5G規格関連の特許出願ファミリーを約1,400件出願しており、また3GPP(移動通信システムの規格策定を行う標準化団体)の標準化活動において、5Gの早期導入に向け、通信事業者としては最も多く^{※4}の無線方式などの技術提案(寄書約3,700件^{※5})を行っております。標準規格に関連する特許出願ファミリーや寄書の件数は、標準化活動の参加企業の技術的な貢献度を示すパラメーターであり、ドコモは3G(W-CDMA)、4G(LTE)規格と同様、5G規格の策定においても中心的な役割を果たしております。

ドコモはこれまで3GPPに5G基盤技術を含むさまざまな技術提案をしております。たとえば、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報にもとづきメッセージを表示する緊急速報「エリアメール」をベースとした技術提案を行い、緊急情報の配信基盤であるETWS(Earthquake and Tsunami Warning System)が3GPPで制定されております。

これは、国内ではKDDI株式会社やソフトバンク株式会社に採用され、米国、欧州、韓国などでも同様のシステムが導入されております。

ドコモは、お客様により良いサービスを提供するため、モバイル通信の未来を切り開くべく、研究開発に取り組んでまいります。

※1 特許出願ファミリーとは、同一発明を異なる国において特許出願した場合のそれらの出願やその特許群。

※2 標準規格必須特許とは、標準規格の実現に必要な特許。標準化団体の知財ポリシーにより、公平、合理的かつ非差別的な条件で通常は許諾。

※3 世界では6位。

※4 世界では9位。

※5 「寄書」という形式での標準仕様策定に向けた提案事項を含む文書提出。

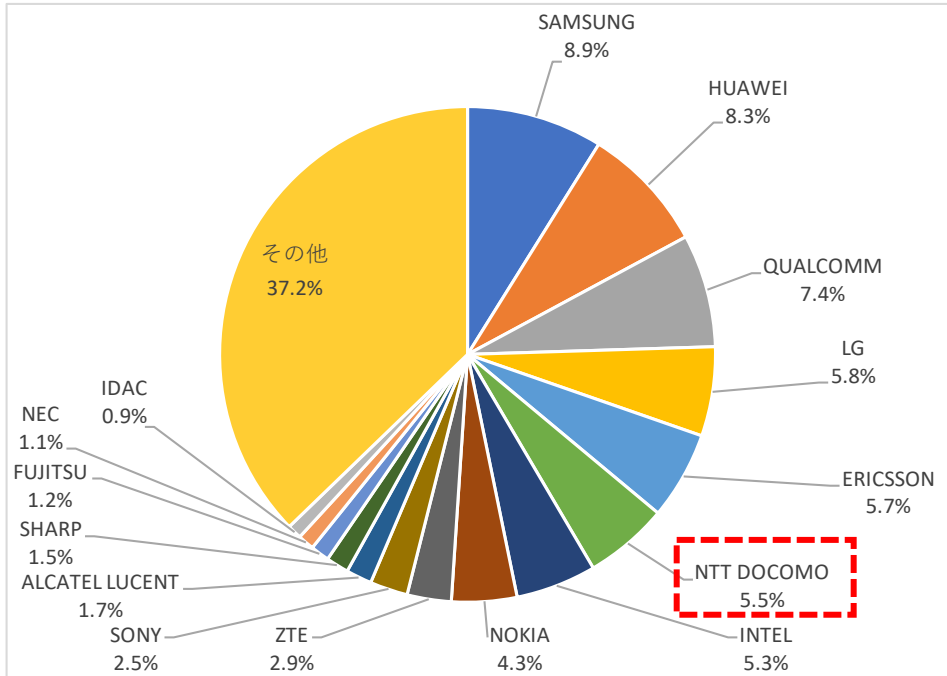
*ドコモの標準化への取り組み <https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/rd/tech/standardization/>

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

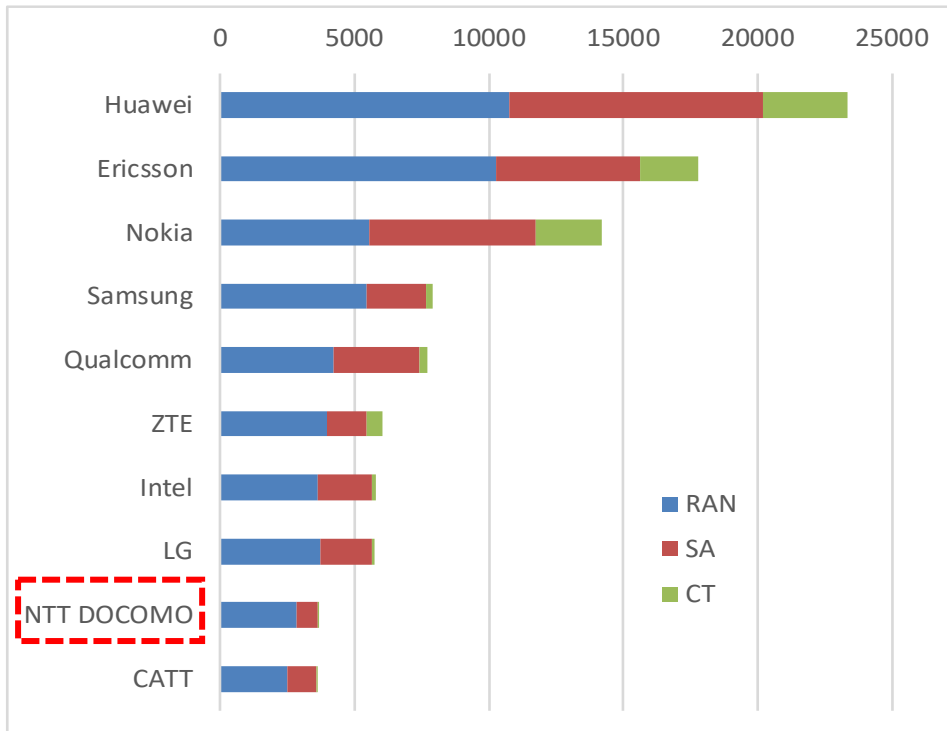
株式会社NTTドコモ
知的財産部 権利化担当
TEL:03-5156-1776

参考

1. 5G 規格関連の特許出願ファミリー数



2. 5G規格関連の寄書提出数



出典: 株式会社サイバー創研「5G実現に資するETSI 標準規格必須特許(5G-SEP) 候補の出願動向と標準化寄書の提案動向」

<http://www.cybersoken.com/blog/topics/2019/02/06/2467/>